

議員氏名：岡田 幸次郎

議案番号：議案第47号

案件名：令和8年度二宮町一般会計予算

討論内容：

私は議案47号「令和8年度一般会計予算」について、賛成の立場から討論いたします。

私は当初、予算案に対し、将来に向けた安定財源を確保するための施策が極めて弱く、戦略的のある未来投資予算になっていないという理由で反対いたしました。

私は、これまでふるさと納税の実効性強化、高齢者の移動支援、若者・子育て世代の定着、デジタル化や未来投資など、町の将来に直結する課題について、改善を求めてまいりました。

今回の予算案は、これらの課題に対し、町として本気で動き出す意思が明確に示されたこと、小規模であっても、実行力のある改善が具体的に盛り込まれており、前回の予算案と比べて大きく前進した内容であり、それらは賛成に値する点であると判断をしております。

また、今回の予算案で改善された点を、提案も含めて、述べさせていただきます。

まず、ふるさと納税の実効性強化についてです。

ふるさと納税は、自主財源で財政を支える重要な柱であり、ふるさと納税による税収増は、戦略性のある財政対策の取り組みであり、事業者選定では、プロポーザル型、企画提案プレゼンへ変更し、具体的に見直すなど、実効性の強化を示されたことを評価しました。

ここで、さらに実効性を高めるための提案をしておきます。

ふるさと納税の実効性をさらに高めるには、中間業者の選定をプロポーザルへの見直しに加え、中期的な寄附額の目標設定をすること。令和8年度の寄附額の目標は500万円ですが、5年後、10年後を想定した財政目標をデザインして、中間事業者と共に、財政対策の取り組みをお願いしたい。

行政が示された、令和8年度は検討、令和9年度は結果反映というスケジュールとも整合をします。この財政対策に係る検討調査経費などは必要に応じ、補正予算を組んで確実に実施するよう、強く求めておきます。

次に、高齢者移動支援については、買物、通勤・通学、通院といった、日常生活のあらゆる場面を支える生活基盤であり、町として、将来的に総合的な交通網をどのように構築していくか、他事業とも連携し、あらゆる交通手段を組み合わせた将来の地域交通の在り方を重層的に考えて検討していく、この方向はその第一歩として評価できるものです。

しかしながら、町民の生活基盤である交通網を、町として総括的に交通ビジョンを描きながら、持続可能な移動支援の仕組みづくりについて早急に進めていくことを求めておきます。

次に、残りの2つの課題については、さきの修正、概要説明、その他の事項にて、移住・定住施策、DX推進として、真摯に取り組んでいく意思表示がありました。また、質問答弁の中で、その課題に対しても、将来への取り組みの考えが確認できました。

ぜひ、3年から5年を見据えた予算経費も含めて、取り組みに遅れなきよう、確実に推進することを求めておきます。

結びになります。

今回の予算案は、前回案と比べ、町の未来に向けた施策が、検討から実行へと確実に前進したと

いう点で、大きな意味を持つものです。もちろん、まだ十分とは言えない部分もあります。

しかし、今回の予算案は、行政と議会が話し合い、町の将来に向けて第一歩を踏み出すための内容になっており、実行に向けて動き出した、まさにこの点こそが私が求めていた改善であり、前に進むべきと判断し、賛成いたします。以上です。